

NACSIS-CAT/ILL

ニュースレター

国立情報学研究所 7号
2002.7.1

Contents

(NACSIS-CAT)

- | | |
|--------------------------------------|---|
| 1. RLGとの目録システム間リンクの運用開始 | 2 |
| 2. 検索専用CATPサーバの公開 | 3 |
| 3. 図書所蔵レコード6,000万件突破! | 3 |
| 4. JPMARC遡及版(大正期)の運用開始 | 4 |
| 5. LCCNフィールドの10桁化 | 4 |
| 6. 教育用データベースの内容更新 | 5 |
| 7. レコード調整の連絡方法の変更 | 5 |
| 8. コーディングマニュアルの一部改訂(NBNおよび主題関係のコード表) | 6 |
| 9. 和漢古書に関するコーディングマニュアル(案)の公開 | 6 |
| 10. 学術雑誌総合目録のデータ更新予定 | 7 |

(NACSIS-ILL)

- | | |
|--|----|
| 11. OCLCとのILLシステム間リンクの運用開始 | 8 |
| 12. 電子ジャーナルの文献複写依頼における注意点 | 8 |
| 13. 北京日本学研究中心図書資料館からの文献複写依頼 | 9 |
| 14. 複写データ処理センター業務報告(平成13年度下半期) | 10 |
| 15. NACSIS-ILLユーザ会料金相殺処理報告(平成13年度下半期) | 11 |
| (その他) | |
| 16. メタデータ・データベース構築システムの試行運用開始および
NIIメタデータ記述要素(案)の公開 | 12 |
| 17. メタデータ・データベース共同構築事業説明会の開催 | 12 |
| 18. 平成14年度研修事業の概要 | 13 |

(付録)

- コーディングマニュアル
 - 2.1.16 NBN
 - 付録1.5 主題関係のコード表
- 和漢古書に関するコーディングマニュアル(案)
- NIIメタデータ記述要素(案)

本誌は、次のホームページでも公開しています。
<http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/>

NII 国立情報学研究所

〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋2丁目1番2号
 コンテンツ課—コンテンツ形成管理係 TEL.03-4212-2355,2356 FAX.03-4212-2375
 文字情報係 TEL.03-4212-2360,2361 同上
 計量情報係 TEL.03-4212-2365,2366 同上
 企画調整課—共同利用係 TEL.03-4212-2225 FAX.03-4212-2230
 情報基盤整備係 TEL.03-4212-2220 同上
 成果普及課—専門研修係 TEL.03-4212-2175 FAX.03-4212-2180

RLG との目録システム間リンクの運用開始

平成 14 年 6 月から、NACSIS-CAT を通じて RLG (The Research Libraries Group, Inc.) の提供するデータの参照利用が可能となりました。今回利用可能となるのは、RLG Union Catalog: Bibliographic files に含まれる 7 つのデータベースです。以下に概要と、利用にあたっての主な注意事項をお知らせします。

なお、この機能は本誌 6 号でお知らせした、NACSIS-CAT Z39.50 クライアント機能により実現しています。

1. 概要

	参照ファイル名	RLG データベース名	内容	収録レコード数 (平成 14 年 6 月現在)
1	RLGBKS	BKS	Books (図書)	121,834,669 件
2	RLGSER	SER	Serials (雑誌)	6,327,224 件
3	RLGAMC	AMC	Archival and Mixed Collections (文書・手稿)	694,267 件
4	RLGMAP	MAP	Maps (地図)	581,848 件
5	RLGMDF	MDF	Computer Files (電子ファイル)	89,667 件
6	RLGREC	REC	Sound Recordings (音盤)	2,065,333 件
7	RLGSCO	SCO	Scores (楽譜)	1,803,559 件
8	RLG	RLG	上記 1～7 の順に全データベースを検索対象とする	133,396,567 件

各データベースの特徴や収録件数の詳細は、RLG のホームページを参照してください。

データの特徴 <http://www.rlg.org/cit-bib.html>

収録件数 <http://www.rlg.org/bibsize.html>

2. 主な注意事項

- ・総合目録データベース、既存参照ファイルを検索した上でなおもノーヒットの場合のみ検索してください。
- ・サーバに過度の負担がかかるため、ヒット件数が大量となる検索（普通名詞 1 語による検索等）はあらかじめ避けてください。
- ・RLG のシステム停止時、また、アクセス混雑時には利用できません。

その他の注意事項やシステム仕様については、下記ページをご覧ください。

http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/INFO/newcat/z3950/client_rlg.htm

(コンテンツ形成管理係)

検索専用 CATP サーバの公開

かねてより要望が多かった検索専用 CATP サーバを平成 14 年 6 月から公開しました。

本サーバにより、各図書館 OPAC との横断検索システムや、機関内利用者からの ILL 依頼用クライアントなど新たなシステムの作成が可能となります。

本サーバの概要及び利用申請方法については、次のホームページ「検索専用 CATP サーバ利用ガイドライン」にて紹介しています。

URL:http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/INFO/newcat/kensaku_senyo_guide.html

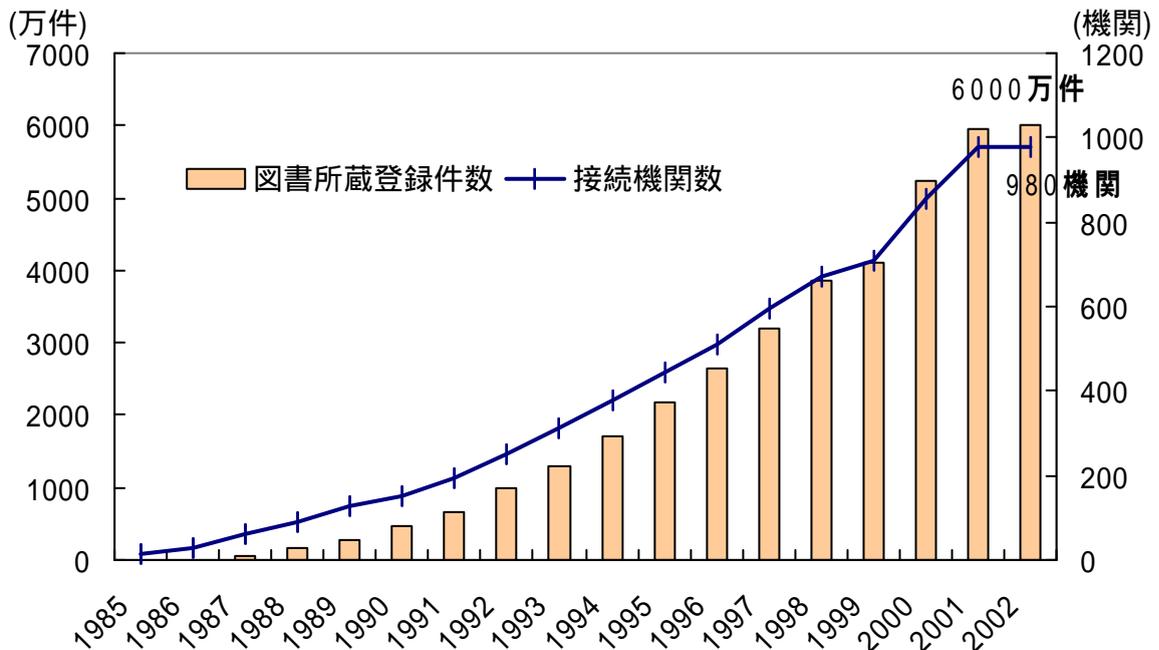
(コンテンツ形成管理係)

図書所蔵レコード 6,000 万件突破!

平成 14 年 5 月 13 日に、総合目録データベース図書所蔵レコードの件数が 6,000 万件を突破しました。目録所在情報サービスの接続館(参加機関)も、平成 14 年 5 月末現在で、980 機関となっています。

これらは、ひとえに総合目録データベースの充実を目指して積極的に参加して下さった各機関各位の御尽力の賜物です。この場を借りて改めてお礼を申し上げますとともに、今後なお一層の御協力をお願いします。

図書所蔵登録件数と接続機関数の推移



(平成14年5月現在)

(コンテンツ形成管理係)

JPMARC 遡及版(大正期)の運用開始

主として大正期に刊行された図書の書誌データとして、国立国会図書館から頒布された「ジャパン・マーク遡及版(大正期)」を JPMARC に追加導入し、平成 14 年 5 月 23 日から運用を開始しました。データの概要等については、次のホームページを御覧ください。

URL:<http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/INFO/JP-taisho.html>

(コンテンツ形成管理係)

LCCN フィールドの 10 桁化

平成 13 年 1 月から LC 番号(米国議会図書館の付与する管理番号)が 8 桁から 10 桁に変更されましたが、NACSIS-CAT の LCCN フィールドにおける制限値が 8 桁だったため、入力することができませんでした。

この度、新 CAT システムにおいて LCCN フィールドの制限値に 10 桁を追加しましたので、新 CAT システムでの入力が可能となりました。LCCN フィールドへの入力桁数と登録データの関係は次の通りです。

入力 LCCN 桁数	サーバでの対応
7 桁以下	従来通り (2 桁目と 3 桁目の間に 0(ゼロ)を補正)
8 桁	そのまま
9 桁	エラー
10 桁	そのまま
11 桁以上	エラー

既に OTHN(その他の番号)フィールドや、NOTE(注記)フィールドに記録されている 10 桁の LC 番号は、コンテンツ課で LCCN フィールドに転記する予定ですが、発見館でも、作成館または修正館との協議なしに随時修正できるものとしします。

なお、旧 CAT システムへの対応も、近日中に予定しています。

(コンテンツ形成管理係)

教育用データベースの内容更新

本誌 5 号でお知らせしていました教育用データベースの内容更新作業が、平成 14 年 5 月 19 日に完了しました。

これにより、内容が現在の業務用データベースに近づき、担当者向けの講習会でもより適当な例題を提供することが可能となりました。

平成 13 年度以前に作成された国立情報学研究所の「目録システム講習会テキスト」各編とは、検索結果等に違いが生じることがありますので、御注意ください。

(成果普及課専門研修係)

レコード調整の連絡方法の変更

従来、書誌レコードの修正や重複レコードの統合に伴う所蔵レコードの付替等、参加館へのレコード調整の連絡は、本誌巻末の付録として一括掲載していましたが、より早く確実に各参加館の担当の方々へ連絡するために、今後は、2~3 か月に 1 度、各参加館 (FA 番号単位) 宛に直接、該当リストを郵送することとしました。

本誌 6 号以後に発生したレコード調整については、平成 14 年 6 月末に既に発送していますので、本号からレコード調整の記事は掲載していません。次回の発送は、平成 14 年 9 月頃を予定しています。

(コンテンツ形成管理係)

コーディングマニュアルの一部改訂

(NBN および主題関係のコード表)

CHINA MARC 等の参照 MARC の追加導入に伴い、コーディング・マニュアルの「2.1.16 NBN」および「付録 1.5 主題関係のコード表」を一部改訂します。

主な改訂内容は、次の通りです。

1. 「2.1.16 NBN」

現行は、JP 番号のみを想定していますが、CHINA MARC の CN 番号および導入予定の KOR MARC(韓国国立中央図書館が作成する韓国全国書誌)の全国書誌番号へも対応可能なように改訂します。

2. 「付録 1.5 主題関係のコード表」

ドイツ MARC、CHINA MARC の導入により、新しく追加された「分類表の種類コード」、
「件名標目表の種類コード」を追加します。

(コンテンツ形成管理係)

和漢古書に関するコーディングマニュアル(案)の公開

本誌 6 号掲載の「和漢古書に関する取扱い(案)及び解説」に続き、「和漢古書に関するコーディングマニュアル(案)」を、本号付録として公開します。PDF 版は、既下記 URL にて公開しています。

URL:<http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/INFO/wakan-cm.html>

本コーディングマニュアル(案)についての御意見は、以下のいずれかの方法でお送りください。締め切りは平成 14 年 7 月末とします。

(1) ホームページ:「NACSIS-CAT/ILL WWW による質問受付」

入力時の質問タイトルは、「和漢古書コーディングマニュアル(案)について」としてください。

(2) FAX もしくは E-mail (文書ファイルをメール添付も可)

送り先: コンテンツ課コンテンツ形成管理係

FAX:03-4212-2375, E-mail: tosho@nii.ac.jp

(コンテンツ形成管理係)

学術雑誌総合目録のデータ更新予定

平成 13 年 10 月から平成 14 年 3 月まで、学術雑誌総合目録（以下、「学総目」という）欧文編 2002 年版データ更新作業実施に伴い、総合目録データベースの雑誌書誌・所蔵レコードを多数登録していただきありがとうございました。今後の学総目データ更新についてお知らせします。

1. 次回のデータ更新期間

和文編：平成 15 (2003) 年度中を予定

欧文編：平成 17 (2005) 年度中を予定

2. 今後のデータ登録

オンライン登録

書誌・所蔵データのオンライン登録作業は、学総目データ更新期間であるかどうかを問わず、また、和文誌・欧文誌を問わず、通年実施可能です。

磁気テープ等による一括登録

学総目データ更新期間中の提出が原則です。期間外に提出される場合は、事前に文字情報係にお問い合わせください。

なお、汎用機対応の媒体（オープンリール等）の受付は、次回データ更新（平成 15 年度に実施予定の和文編）を最後に中止しますので、サーバ系の媒体（DAT 等）や一括自動登録ソフトによる登録への変更を検討願います。

雑誌所蔵データ登録専用 WebUIP による登録

既登録データの修正等は随時可能ですが、新規登録は、原則としてデータ更新期間中のみとしてください。

3. その他

本研究所では、現在、平成 13 (2001) 年度に実施した欧文編データ更新期間中に提出のあった書誌作成・修正報告及び変遷報告等の確認作業を進めています。必要に応じて担当係からレコード調整、情報源請求等の連絡を行いますので、御協力をよろしく願います。

(文字情報係)

OCLC との ILL システム間リンクの運用開始

平成 14 年 4 月 15 日から OCLC Online Computer Library Center, Inc. との ILL システム間リンクの運用を開始しました。これによって、日米間のドキュメント・デリバリー・サービスが本格的に運用されます。これは、日米大学図書館間の協議、および国立情報学研究所と OCLC との協議の結果、実現したものです。

このシステム間リンクに参加する図書館は、米国の図書館に対しても国内と同様の文献複写の依頼・受付業務が可能となります。平成 14 年 6 月現在で、日本国内から 54 館、米国側から 21 館が参加しています。米国側の参加館は、随時増加しています。

この ILL システム間リンクは、ISO (国際標準化機構) の国際規格となっている ILL プロトコルを使用しているもので、このプロトコルを用いた業務レベルでの書誌ユーティリティ間の接続は、世界で初めてです。

ILL システム間リンクに関する最新の情報は、次のホームページを御参照ください。

- ・ ILL システム間リンク全般

URL: <http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/INFO/ILL/ISO/>

- ・ 米国側参加館に関する情報

URL: <http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/INFO/ILL/ISO/OCLC-member-policy.html>

- ・ 日本側参加館に関する情報

URL: <http://wwwsoc.nii.ac.jp/anul/ISOLink/top.html>

なお、本 ILL システム間リンクの参加館の追加募集は、別途御案内します。

(計量情報係)

電子ジャーナルの文献複写依頼における注意点

本誌 5 号「電子ジャーナルに関するコーディングマニュアルの改訂」、6 号「電子ジャーナルの総合目録データベース所蔵登録に関する調査」でお知らせしていますように、国立情報学研究所では、電子ジャーナルを総合目録データベースに登録する環境を整備しています。また、上記の調査の結果に基づいて、平成 14 年 6 月に電子ジャーナルの一括登録を行いました。

この結果、NACSIS-ILL の書誌・所蔵検索でも電子ジャーナルの書誌・所蔵レコードがヒットする可能性があります。現在考えられる電子ジャーナルの文献複写依頼における注意点を以下にまとめましたので、ILL 業務の参考としてください。

ある雑誌について、電子ジャーナルと冊子体の書誌があった場合は、特に必要のない限り、冊子体を所蔵している図書館へ依頼するようにしてください。また、電子ジャーナルの文献複写を依頼する場合は、所蔵館が電子ジャーナルの文献複写の受付を行っていることを必ず確認してから依頼してください。

書誌が電子ジャーナルかどうかの判断のポイント

- 「IDENT」フィールドに URL の記述がある。
- 「GMD」フィールドの値が「w」である。

所蔵館が電子ジャーナルの文献複写の受付を行っているかどうかのポイント

- 所蔵レコードの「CPYNT」フィールドに「ILL 可」とある。

電子ジャーナルの書誌レコードに所蔵を登録していて、ILL で提供できない理由として、以下のことが考えられます。

- 電子ジャーナルの購読契約上、ILL で提供できない。
- 電子ジャーナルを ILL で提供する体制（複写料金の設定等）が未整備である。

電子ジャーナルの文献複写、および ILL 提供については、流動的な部分が多い状況ですので、電子ジャーナルの文献複写の受付を行っている所蔵館に対してのみ依頼をするようお願いいたします。

(計量情報係)

北京日本学研究中心図書資料館からの文献複写依頼

北京日本学研究中心は、中国での日本語・日本研究や日本との交流に携わる人材の養成を目的として、日本の国際交流基金（外務省所管の特殊法人）と中国政府（国家教育委員会）との協力によって北京外国語大学内に設置された、中国における日本研究の中核的な役割を担っている機関です。現在、国際交流基金の支援によって運営されています。

国立情報学研究所は、平成 10 年度（前身の学術情報センター時代）から国際交流基金の要請を受けて「中国プロジェクト」を開始し、同センター図書資料館（以下、「図書資料館」）の情報化を支援しています。その一環として、目録所在情報サービスの参加館として、書誌・所蔵登録が進んでいます。

更に図書資料館では、平成 14 年 5 月から利用者向けの新しいサービスとして、NACSIS-ILL を利用した日本関係資料の文献複写サービスを開始しました。

ただし、図書資料館から日本の受付館に対して文献複写料金を直接支払うことは困難なため、料金の支払いおよび日本国内での複写物の受け取りを国際交流基金が代行して運用することとし、図書資料館からの文献複写依頼レコードには、コメント欄や依頼館住所の情報に請求先、資料の送付先を国際交流基金とする旨を明記しています。

中国における日本情報の流通を促進し、両国間の文化交流を深めるためにも、御協力をよろしく申し上げます。

(計量情報係)

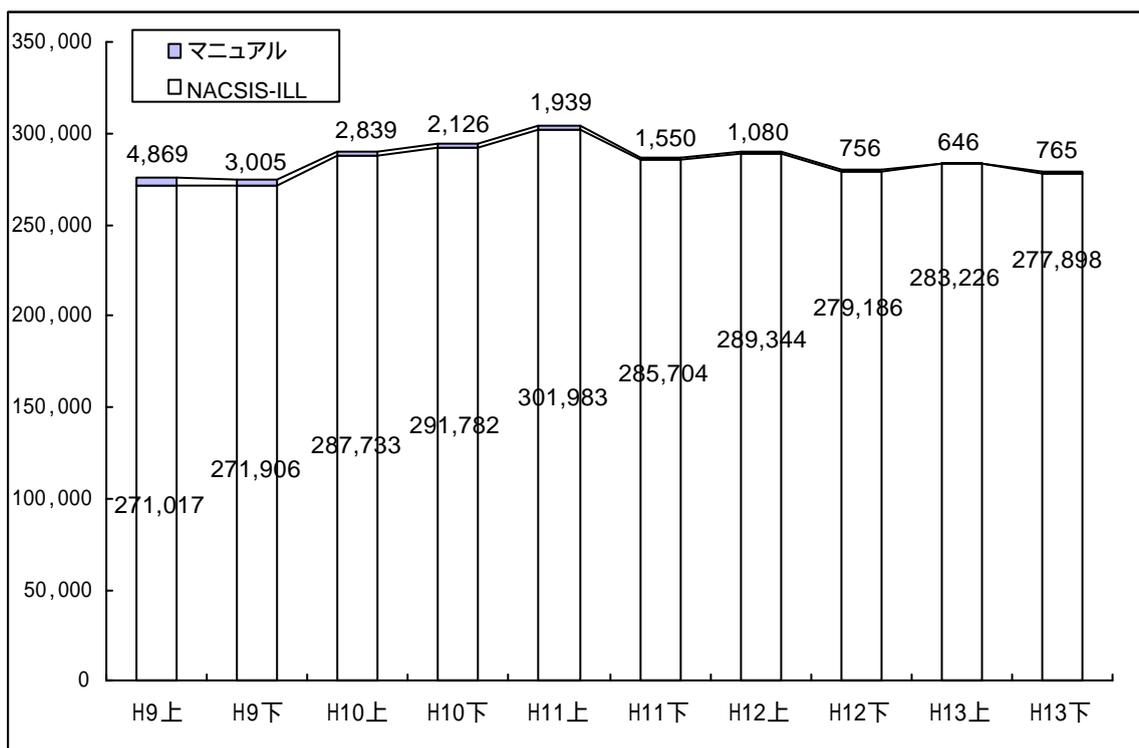
複写データ処理センター業務報告 (平成 13 年度下半期)

「国立大学等図書館の文献複写について」(文学情第 239 号 平成 11 年 3 月 31 日)に基づき、文献複写経費のデータ処理を平成 14 年 3 月に実施しました。

各図書館の相互貸借業務も、マニュアル処理から NACSIS-ILL 処理へ移行していただきますようお願いをお願いします。

単位：件 (カッコ内は前期比)

平成 13 年度下半期		マニュアル (依頼書)	NACSIS-ILL	合計
		765(+119)	277,898(-5,328)	278,663(-5,209)
内訳	大学	487(+85)	268,567(-3,215)	269,054(-3,130)
	短期大学	0(0)	320(-97)	320(-97)
	高等専門学校	259(+62)	5,537(-1,511)	5,796(-1,449)
	共同利用機関	19(-28)	3,474(-505)	3,493(-533)



処理件数の推移

(計量情報係)

NACSIS-ILL ユーザ会料金相殺処理報告 (平成 13 年度下半期)

「文献複写・現物貸借料金相殺のための NACSIS-ILL ユーザ会会則」(平成 8 年 10 月 1 日一部改正) 第 5 条に基づき、文献複写および現物貸借経費のデータ処理を平成 14 年 3 月に実施しました。

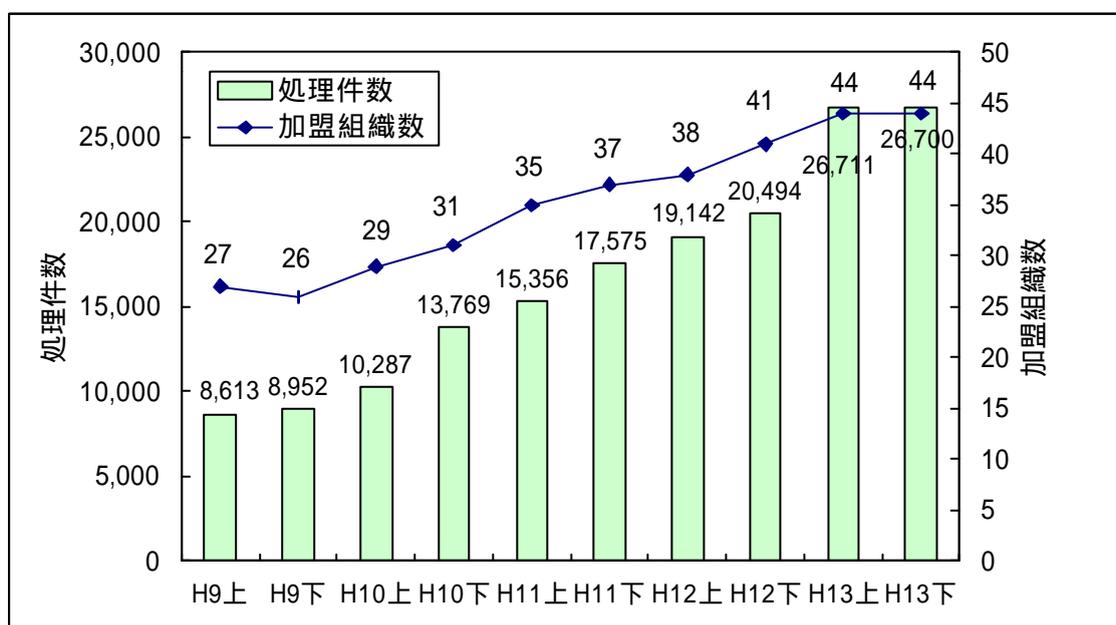
「文献複写・現物貸借料金相殺のための NACSIS-ILL ユーザ会」(以下 NACSIS-ILL ユーザ会) は、公立・私立大学等の図書館における文献複写・現物貸借にかかる料金の支払業務を合理化するために、平成 6 年に設立されました。この結果、NACSIS-ILL ユーザ会参加館間の文献複写・現物貸借料金の相殺制度が実現され、従来 1 件ごとに必要だった料金の請求・支払処理が、年 2 回の処理に集約できます。

なお、NACSIS-ILL ユーザ会への参加方法等については、次の URL を御参照ください。

URL:<http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/INFO/ILL/userkai.html>

単位：件 (カッコ内は前期比)

平成 13 年度下半期	複写	貸借	合計
	26,529 (-32)	171 (+21)	26,700 (-11)



加盟組織数及び処理件数の推移

(計量情報係)

メタデータ・データベース構築システムの試行運用開始 および NII メタデータ記述要素(案)の公開

国立情報学研究所では、国内の大学・研究機関等の持つネットワーク上の有用な学術情報資源の情報を収集・組織化し、より高度な情報サービスの基礎とすべくメタデータ・データベース共同構築事業を計画しています。

本事業については、平成 14 年秋の開始を目指して準備を進めていますが、本格的な事業開始に先立ち、本誌 5 号でお知らせした「ネットワーク上の情報資源の取扱い(案)」に基づき、平成 14 年 6 月 3 日より、本データベースの構築システムの試行運用を始めました。試行運用は平成 13 年度の「メタデータ・データベース検討ワーキンググループ」への参加館を中心に実施中ですが、さらに多くの図書館の参加をお願いします。詳細は次のホームページを御覧ください。また、試行運用で用いるメタデータ記述要素の一覧を巻末付録「NII メタデータ記述要素(案)」に掲載します

- ・メタデータ・データベース構築システム試行運用実施要項

URL:<http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/metadata/shikou/>

問い合わせ先：コンテンツ課文字情報係 (E-mail: gakuso@nii.ac.jp)

(文字情報係)

メタデータ・データベース共同構築事業説明会の開催

メタデータ・データベース共同構築事業の開始に合わせ、本事業の概要とデータ作成基準等についての説明会を開催します。説明会では、国際的な事業展開を中心とした NACSIS-CAT/ILL の今後の見通しや、学術雑誌目次速報データベースの強化の予定等についても併せて紹介します。

説明会は平成 14 年 10 月に全国 5 カ所(北海道地区、東北・関東地区、中部地区、近畿・中国・四国地区、九州地区)にて実施を予定しています。実施の詳細については本誌またはホームページにてお知らせします。

(文字情報係)

平成 14 年度研修事業の概要

国立情報学研究所では、目録所在情報サービス関連の研修を次のように開催します。

(一部、既に応募を締め切ったものや終了しているものもあります)

(1) 総合目録データベース実務研修

目録所在情報サービス参加図書館において中核的な役割を担う人材の養成を目的として実施する研修です。今年度は、「図書館システム担当者コース」は行わず、「目録担当者コース」を 2 回開催します。

- ・目録担当者コース 2 回、各 2 週間

(2) 目録システム講習会

総合目録データベースの構成、内容、データ登録の考え方(入力基準)などを理解するための講習会。

- ・目録システム講習会(図書コース) 6 回、各 3 日間
- ・目録システム講習会(雑誌コース) 3 回、各 3 日間
- ・目録システム地域講習会(図書コース) 12 回、各 3 日間
- ・目録システム地域講習会(雑誌コース) 開催なし

(3) ILL システム講習会

NACSIS-ILL システムの運用方法等に関する知識を習得するための講習会。

- ・ILL システム講習会 3 回、各 2 日間
- ・ILL システム地域講習会 開催なし

なお、ILL システムについては、Web ブラウザを使用して、NACSIS-ILL システムの概要・運用方法を自習できる「ILL 自習システム(NACSIS-SL/ILL)」もありますので御活用ください。

(URL:<http://www.nii.ac.jp/hrd/HTML/NACSIS-SL/ILL/>)

各研修・講習会の期日、会場および申込方法などの詳細は、ホームページ(教育研修事業 URL:<http://www.nii.ac.jp/hrd/index.html>)または国立情報学研究所発行の「平成 14 年度教育研修事業要綱」を御参照ください。研修事業要綱発行後に変更となる事項もありますので、最新情報は、ホームページで確認されることをお勧めします。

問い合わせ先：成果普及課企画調査係 (E-mail:edu@nii.ac.jp)

(成果普及課企画調査係)